

エコアクション 21

2022年度 環境経営レポート

対象期間 2022年4月~2023年3月



泰成工業株式会社

発行日 2023年 7月10日



目 次		ページ
1. 事業活動の概要	1~9	・・・ P3・4
2. 環境経営方針		
2 - 1	環境理念	・・・ P5
2 - 2	環境経営方針	
3. 環境経営目標（中期目標）		・・・ P6
4. 環境経営計画		
4 - 1	電力使用量の削減	・・・ P7
4 - 2	ガソリン・軽油	・・・ P7
4 - 3	都市ガス	・・・ P8
4 - 4	廃棄物の排出制御、リサイクル	・・・ P8
4 - 5	節水	・・・ P8
4 - 6	コピー用紙	・・・ P8
4 - 7	化学物質使用量の削減	・・・ P9
4 - 8	自らが提供する製品及びサービスに 関する環境配慮	・・・ P9
4 - 9	社会貢献活動	・・・ P9
4 -10	作業現場	・・・ P9
5. 環境経営目標の実績		・・・ P10
実績推移グラフ		・・・ P11
6. 当期の取り組み		・・・ P12
7. 環境経営計画の取組結果とその評価・次年度の取組内容		・・・ P13
8. 環境関連法規等への違反、訴訟の有無		・・・ P14
9. 代表者による全体評価と見直し結果		・・・ P15

1. 事業活動の概要

1. 事業名及び代表者氏名

泰成工業株式会社 代表取締役 米元 将治

2. 所在地

〒459-8011
名古屋市緑区定納山1丁目1701番地

3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役 米元 将治
EA21事務局担当者 伊藤 美智代
連絡先 TEL 052-784-9731 FAX 052-784-9732
ホームページ <http://www.p-taisei.co.jp>

4. 事業概要

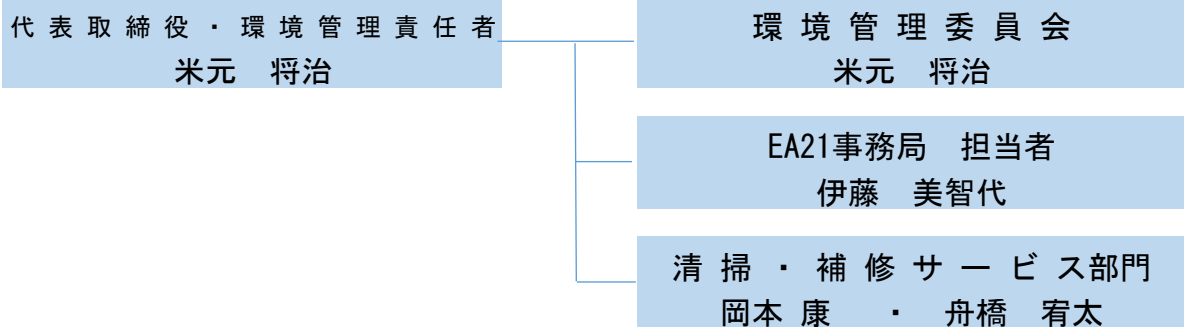
- 工場内の清掃・塗装・製缶

50年に渡って各メーカー様と契約を交わし、
各工場内生産設備の清掃と整備

5. 設立年月日 1968年（昭和43年）8月1日

6. 事業規模 従業員 5人
床面積 273㎡
敷地面積 359㎡

7. 事業組織



8. 認証登録の対象範囲

- 本社（全組織）

9. 各責任者の任務

職名	役割 ・ 責任 ・ 権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境方針を策定する。 ・ 環境目標および環境行動計画を承認する。 ・ 経営環境システムの構築、及び運用、環境目標および環境行動計画の実施に必要な資源（人的、物的、財務的資源）を用意する。 ・ 環境管理責任者を任命する。 ・ 環境目標の達成状況について、毎年9月および3月に報告を受け、必要な場合は改善等を指示する。 ・ 毎年3月に環境経営システムおよび環境方針の見直しを行う。 ・ 関連法規の順守評価を行う。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各部門責任者に『環境への環境負荷の自己チェック』および『環境への取組の自己チェック』を指示し、その結果を審査の上、承認する。 ・ 各部門責任者に環境目標の設定を指示し、その結果を審査の上、承認する。 ・ 毎年9月と3月に各部門の環境目標の達成状況について報告を受け、必要な場合は問題点の是正を指示する。 ・ 関連法の特定・維持・管理を行う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの構築および運用に関して環境管理責任者の業務を補佐する。 ・ 環境管理責任者の指示により、必要な調査検討を行う。 ・ 環境経営システムに関する記録を保管する。 ・ 対外的な環境・法律関係の届出を行う。
各部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの部門において各担当者に『環境への取組の自己チェック』の実施を指示しその結果を点検の上、環境管理責任者に報告する。 ・ 各部門の『環境への環境負荷の自己チェック』を実施する。 ・ 部員に『EA21の環境目標・環境活動計画』を周知徹底させる。 ・ 環境活動計画を実施推進、管理する。 ・ 環境活動状況を事務局に報告する。
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社業務に関わる社員、外注業者代表によって組織され、第三者的視点から当社のEA21活動に関して問題点、疑問点を提議する。 ・ 資料等の配布連絡をする。必要に応じて会議を開く。

2. 環境経営方針

2-1 環境理念

私たち泰成工業株式会社は、限りある資源と年々深刻化する地球環境の変化を考慮し省資源と環境に配慮した事業活動を社員一丸となって取り組み必要とされる企業を目指します。

2-2 環境経営方針

当社はこの環境理念を具現化する為に、以下の活動を推進します。

- ① 環境の目標を定め、見直し継続していきます。
- ② 環境関連の法規、協定を遵守します。
- ③ 廃棄物の削減に努め、省エネルギー、節水の継続的な改善に取り組みます。
- ④ 環境教育等を通じて全社員の環境に対する意識向上を図り、環境保全活動に努めます。
- ⑤ この環境方針を全社員に周知徹底させると共に、環境活動レポートとして、社外へ公表する。
- ⑥ お客様の快適な生産環境の維持に徹し効率的な生産向上をサポートします。
- ⑦ 環境に配慮した施工を提案し推進していく。

制定 2008年 10月3日
改定 2021年 8月1日

泰成工業株式会社

代表取締役 米元 将治

3. 環境経営目標（中期）

項目	2022年度実績	2023年度	2024年度	2025年度	
	基準値	目標値	目標値	目標値	
		基準値より 1%削減	基準値より 2%削減	基準値より 3%削減	
①二酸化炭素 排出量の合計	6,345.4	6,282.0	6,218.5	6,155.0	
kg-CO2/億円	実数 (24,112.24kg-CO2)	実数 (23,871.12kg-CO2)	実数 (23,630.00kg-CO2)	実数 (23,388.87kg-CO2)	
内 訳	電力 kWh/億円	1,157.9	1,146.2	1,134.7	1,231.2
	ガソリン ℓ/億円	1,330.7	1,317.4	1,304.1	1,209.8
	軽油 ℓ/億円	1,001.8	991.8	981.8	971.7
	都市ガス m ³ /億円	40.2	39.8	39.4	39.0
②廃棄物全体量	10.90	10.80	10.7	10.60	
t/億円					
③水使用量	10.0	9.9	9.8	9.7	
m ³ /億円					
④コピー用紙	13.8	13.7	13.5	13.4	
kg/億円					
⑤PRTR化学物質の 含有量	52.6	52.1	51.6	51.0	
kg/億円					
⑥環境に配慮した原材料 の使用 (水性使用比率 %)	46.8	47.3	47.7	48.2	

※ 2022年度から2024年度の中期目標値は、2022年度実績値を基準とした

※ 2022年度から2024年度の目標値の電気の二酸化炭素係実排出係数は
最新発表された 0.434kg-CO₂/kWhを使用（令和3年実績令和5年修正 中部電力より発表）

4. 環境経営計画

当社の環境負荷主要因は、電力・廃棄物・化石燃料・水と考え、各項目について、次の手順により削減を図ります。

4-1 電力使用量の削減

- ・ 事務所内空調設備の温度の適正化
 - ・ 事務所内の空調温度を夏季は28℃、冬季は20℃に設定します。
 - ・ 事務所内での服装は、空調に合わせたクールビズ、ウォームビズを推進します。
 - ・ 夏季はエアコンを使う前にまず窓を開け自然風での室内冷却から始めます。
- ・ 電力の適正化、スイッチの適正管理の徹底
 - ・ 長時間席を離れる時はパソコンの電源をOFFにします。
 - ・ パソコンの電源設定で30分以上操作しない場合は自動的に電源がOFFになる設定
 - ・ 人がいない場所の照明はOFF。特にトイレの照明は使用后必ず消します。
 - ・ 保温型電気ポットの廃止。飲用の湯は必要な分量だけ電気ポットで沸かします。
 - ・ 倉庫内での積み下ろしは極力明るい時間帯に行い、電力の使用を極力抑えます（2017年6月水銀灯からLDE照明へ取替済）
 - ・ 残業時間削減する事による 使用時間の短縮
 - ・ 昼休み・休憩時間は減灯を心がける

4-2 ガソリン・軽油

- ・ 新規に自動車及び内燃機関搭載の機械を購入する際は、排気ガスレベル、使用燃料、リサイクル素材の使用など考慮します。
- ・ 今後の車両入れ替え時にも、低公害車にします。
(2010年10月より 取締役社用車ハイブリット車に入替)
(2016年 7月 2tトラック クリーンエンジン車へ入替)
(2020年 7月 軽油車より ハイブリットバン車に入替)
(2023年 1月 軽油車より ハイブリットバン車に入替)
(ガソリン式リフト・電動式リフト・電動式高所作業車)
- ・ 社用車5台・リフト1台の燃料を管理し、アイドリングストップに努めます。
- ・ お客様の工場内で使用するガソリンエンジン式2tフォークリフトその他の車両は規定に従い速度等を厳守します
- ・ 急発進、空ぶかしをしない。
- ・ オイル交換を適正時期行う

4-3 都市ガス

- ・都市ガス関連では給湯器の使用時以外は電源停止、設定温度は控えめにします。お湯の出しっぱなしをしない。
- ・即効性のあるガスストーブはこまめに温度調節をします。

4-4 廃棄物の排出制御、リサイクル

- ・工場より持ち帰りの廃棄物は、2m³積み小型廃棄物コンテナ3基に以下の内容分類して、資源化・廃棄します。

再資源化

- ・コンテナA (金属くず)
【塗料空缶・金属片・番線・機械類・ボルト等】

最終処分化

- ・コンテナB (廃プラスチック)
【養生ビニール・プラスチック・ビニール容器、硬化した樹脂等】
- ・コンテナC (砂 がれき等廃棄物) 【砂利・砂・塵等】
- ・現場で発生したりサイクル可能な資源ごみ(ダンボール箱等)は持ち帰り倉庫内で折りたたみ、リサイクル廃棄物として資源化处理します。
- ・社内で使用するOA紙は、極力裏面を再利用します。又、裏面を使用して最終紙を廃棄する場合は、シュレッダーにかけて裁断し資源化处理します。
- ・鉄くず等の有価物を売却する

4-5 節水

- ・水道使用時の水量を削減する為に、以下の事項を厳守します。

手洗いや汚れ物を洗う場合洗剤で汚れを落としている間は水を止め、出しっぱなしにしない。又、洗物はまとめて行う。

トイレの水は、小用の時は小レバーを使用し、余分な水は使わない。

短時間での使用でも水量に気をつける。

4-6 コピー用紙

- ・極力、裏面の再利用
- ・印刷する場合、確認・再確認のうえ、不要な印刷物が出ないようにする。
- ・紙媒体の保管の必要性を見極め、データ保存でよいものは印刷しない。
- ・新規印刷で両面印刷できるものは両面に。

4 - 7 化学物質使用量の削減

- ・ 化学物質について種類・使用量・PRTR指定化学物質量を記録管理する。
- ・ 化学物質の安全性に関する情報伝達の為、SDS（安全データシート）により管理する。

4 - 8 自らが提供する製品及びサービスに関する環境配慮

- ・ サービス提供する過程で使用する材料など、可能な場合は環境に負担の少ない水溶性に切り替えていく。（お客様仕様に従う）

4 - 9 社会貢献活動

- ・ ペットボトルのキャップを分別回収。キャップ売却利益により途上国の子供達のワクチン代に変換可能な為寄付。
（近隣ステーションへ）
- ・ 非常食用缶入パンを購入、賞味期限1年となった時点で世界の飢餓対策となる義援物資として寄付する活動に参加。
（次回寄付予定 2023年10月頃）

4 - 10 作業現場

- ・ お得意様工場内ではアイドリングストップ必須
- ・ 効率アップや安全の為、作業道具は整理整頓し時間・体力の無駄をなくす
- ・ 作業で出たゴミ等は持ち帰り適正に分類して資源化・破棄します。

5. 環境経営目標の実績

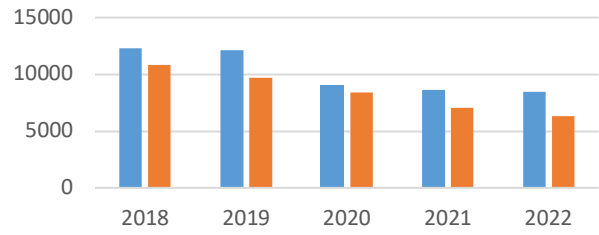
項目	単位	2022年度 目標値	2022年度 実績	達成率	評価	
二酸化炭素 排出量の合計	kg-CO ₂ /億円	8,456.6	6,345.3	133%	○	
	(kg-CO ₂)	(27,516.80)	(24,112.24)			
内 訳	電力	kWh/億円	1,514.9	1,157.9	131%	○
	ガソリン	ℓ/億円	1,971.4	1,330.7	148%	○
	軽油	ℓ/億円	1,225.2	1,001.8	122%	○
	都市ガス	m ³ /億円	21.7	40.2	54%	×
廃棄物全体量	t/億円	15.35	10.90	141%	○	
水使用量	m ³ /億円	16.7	10.0	167%	○	
コピー用紙	kg/億円	14.1	13.8	102%	○	
PRTR化学物質の含有量	kg/億円	49.0	52.6	93%	×	
水性原料使用比率	%	40.7	46.8	115%	○	
		○	100%以上	目標	達成	
		×	100%未満	目標	未達成	

※ 2022年度目標値には対象期間（2019. 4~2020. 3）売上高 3.22億円を使用した
 ※ 二酸化炭素実排出係数は、0.472kg-CO₂/kWhを使用した

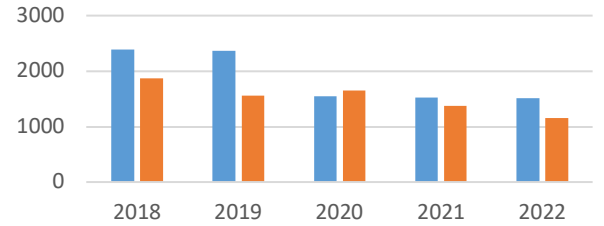
※ 2022年度実績値には対象期間（2022. 4~2023. 3）売上高 3.80億円を使用した
 ※ 二酸化炭素実排出係数は、0.472kg-CO₂/kWhを使用した

■ 目標値 ■ 実績値

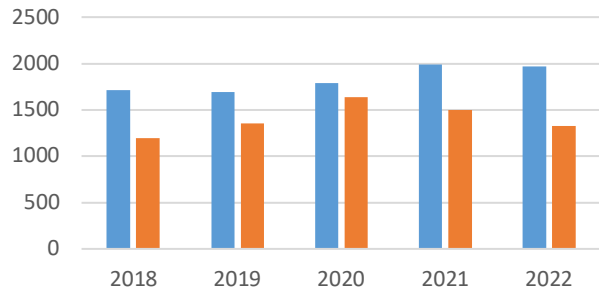
二酸化炭素排出量(kg-CO₂)



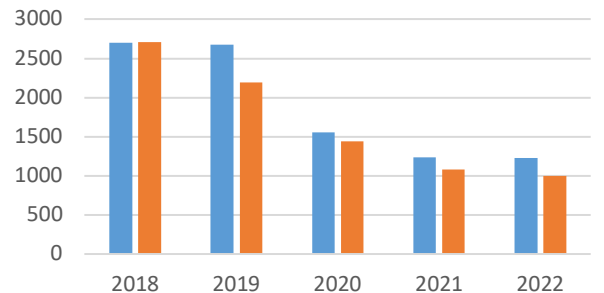
電力(kwh/億)



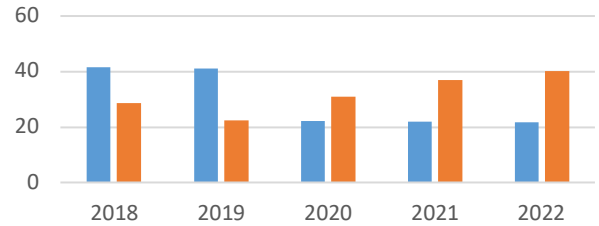
ガソリン(ℓ/億)



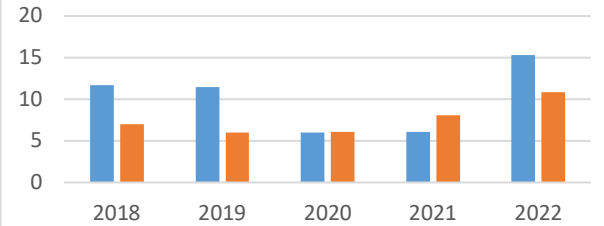
軽油(ℓ/億)



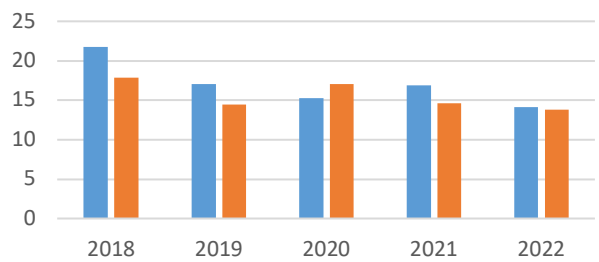
都市ガス(m³/億)



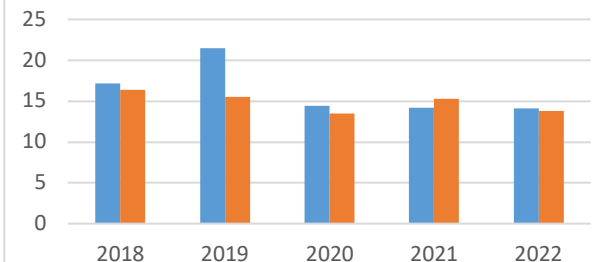
廃棄物(t/億)



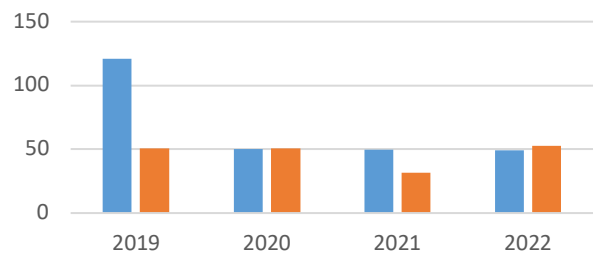
水使用量(m³/億)



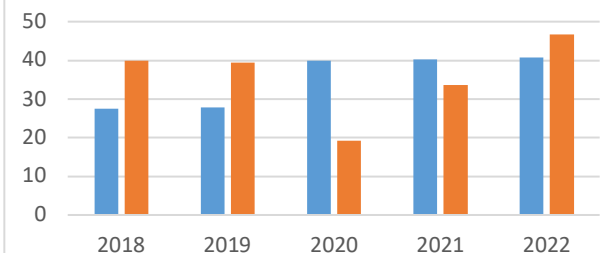
コピー用紙(kg/億)



PRTR化学物質含有量(kg/億)



水性原料使用比率



6. 当期の取り組み		
見える化	<ul style="list-style-type: none"> 縦150cm幅180cmホワイトボードを事務所に設置 	<ul style="list-style-type: none"> 事務作業の進行度等を全員で管理し見える化した →作業漏れ・期限遅れ等防ぐ為 今後 不都合が生じた場合都度改定していく 年間で決まっている業務を計画的にすすめる
防災	<ul style="list-style-type: none"> 少量危険物倉庫内保管物・保管量の表示の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 少量危険物倉庫内に管理する塗料等の具体的な量を表示方法を見やすく大きく表示し扱いやすく改善した
事業継続強化計画	<ul style="list-style-type: none"> 事業継続強化計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 2022年10月17日中部経済産業の認定を受ける(2022中部経強単認台1585号)
安全	<ul style="list-style-type: none"> アルコール監査器を1人1つ配布 使用者変動のトラックには1つ備え付け 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車運転記録簿にアルコールチェック記入欄を追加
	<ul style="list-style-type: none"> 現場での必須資料 	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質使用の原料を使用する際にはSDSが必須となり、持参方法検討中
	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物コンテナ上部に『産業廃棄物保管場所』の看板を掛け変えた 	<ul style="list-style-type: none"> 廃油・木パレットの表示の追記
リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の中から有価物を 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の中には有価物も混入している。できるだけ不純物を取り除き有価物としての量を高める(岡田金属株式会社へ持ち込み清算)
社内環境	<ul style="list-style-type: none"> 温度計・室温計・サーキュレーターの設置 	<ul style="list-style-type: none"> 室内環境を快適かつ省エネの為、数字管理(熱中症等危険な環境になったらアラーム警告)
	<ul style="list-style-type: none"> 備品や電動工具など 整理整頓 	<ul style="list-style-type: none"> ヴィドマー(引出し棚)を増設
	<ul style="list-style-type: none"> 雑草の対処 	<ul style="list-style-type: none"> 除草剤の散布
	<ul style="list-style-type: none"> 側溝の土砂積載(坂の上部より雨等にて土砂がながれ弊社前にて積る) 	<ul style="list-style-type: none"> 大雨・台風時に排水を妨げる可能性あり土木事務所に引取り依頼(土納袋に入れるところまで弊社にて行う)
コロナ感染症	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染症対応(昨年同様 社員・社員家族分の抗原検査キットの購入し社員の家庭へ配布) 	<ul style="list-style-type: none"> 発熱など疑われる症状があったら症状→高原検査→陰性でも陽性でも結果持参病院へ→病院にてPCR検査希望→陽性なら→10日かつ回復後72時間休職→家族については症状出たら抗原検査 ※ お客様・社内での感染を防ぐ為の配慮努力 ※ 5類に移行となったら見直し
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> 災害備蓄食材の寄付(次回2023. 11月) 	<ul style="list-style-type: none"> 消費期限1年となったところで途上国への寄付
熱中症対策	<ul style="list-style-type: none"> 現場作業員の健康管理 	<ul style="list-style-type: none"> 7月~9月頃まで塩分ゼリーと水分配布
セキュリティー	<ul style="list-style-type: none"> データ管理 	<ul style="list-style-type: none"> 『不正アクセスなど情報セキュリティー事故に備え』を作成し社員へ周知

7. 環境経営計画の取組結果とその評価・次年度の取組内容

目的	活動項目	評価	次年度の取組
電力削減	・事務所の空調夏季27℃冬季20℃設定	○	・業務のはかどる気温を保ちながら無駄をなくし電力削減に取り組んでいきます。 ・引き続き継続します
	・クールビズ・ウォームビズ	○	
	・空調前窓を開け自然風で冷却	△	
	・パソコンから長時間離れ時電源オフ	○	
	・パソコン30分自動オフ設定	○	
	・トイレ・部屋使用以外時間消灯	○	
	・倉庫内作業自然光時間内に努める	○	
	・会社内LED照明 不要箇所は消灯	○	
	・残業時間削減	△	
	・昼休み・休憩時間減灯	△	
	・サーキュレーター・熱中症アラーム設置	○	
ガソリン・軽油	・社用車4台・リフト2台・高所作業車1台 燃料・走行距離・燃料金額・整備等の管理	○	・引き続き継続します
	・アイドリングストップに努める	○	
	・お客様の工場内で使用するフォークリフトや車は規定に従い速度等を厳守します	○	
	・急発進・空ぶかしをしない	○	
	・オイル交換の適時実行	○	
	・アルコールチェックの測定・記録	△	
	・ドライブレコーダー等の定期検査	△	
ガス	・給湯器使用時以外電源オフ	○	・引き続き継続します 〈次年度目標〉 ・サーキュレーター使用し空気循環させる
	・ガストーブのこまめな温度調整 (1時間に1度換気する)	△	
廃棄物	・工場より持帰り廃棄物分類し破棄・資源化 (金属くず・廃プラスチック等・がれき等)	○	・活動項目は習慣化しています ・引き続き継続します
	・現場で発生したリサイクル可能ゴミの資源化	○	
	・くず鉄等有価物売却	○	
	・廃棄紙類をシュレッターして資源化	○	
	・小さなメモ紙等もシュレッターして資源化	○	
節水	・水の出しっぱなしをしない	○	・引き続き継続します
	・洗物はまとめて洗う(時短効果もあり)	○	
	・トイレの水は必要な極力必要量(水流音♪使用)	△	
	・短時間でも水量に気をつける	○	
用紙	・裏面の再利用及び両面印刷	○	・引き続き継続します
	・印刷時不使用の無いよう確認・再確認	○	
	・データ保存でよいものは印刷しない	△	
	・会社資料等、紙媒体からデータ資料へ転換	△	
化学物質削減	・種類・使用料管理記録	○	・引き続き継続します 〈次年度目標〉 ・廃棄を極力ださない購入量
	・PRTR指定化学物質量の管理記録	○	
	・SDS(化学物質安全データシート)の保管	○	
環境配慮	・水溶性に変換可能な場合の提案	○	・引き続き継続します 〈次年度目標〉 ・特化側対応塗料(有機物の含有量を少なくした塗料)の模索(水性ではない)
社会貢献	・ペットボトルキャップ回収	○	・引き続き継続します
	・非常用缶入りパン義援物資に変換	○	
	・パン義援次回2023.11月予定	○	
作業現場	・お客様工場内アイドリングストップ必須	○	・引き続き継続します
	・効率アップや安全確保の為 作業現場は整理整頓し時間・体力の無駄をなくす	○	
	・作業で発生したゴミは持ち帰り適正な分別をする	○	
		○	

BCP 対策	・社員への周知	×	〈次年度目標〉
	・紙ベースの情報等 データ保存する	×	・引き続き継続します
	・BCPの見直し改善	×	・社員へ周知
○…十分取り組んだ △…ある程度取り組んだ ×…取組不十分(未実地含) —…評価保留			

8. 環境関連法規等への違反、訴訟の有無

- ① 環境関連法規への遵守状況について、該当する法規のフロン排出抑制法 消防法. 廃棄物処理法. 省エネ法の厳守を確認した所 全て適応しておりました。
- ② 関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

環境影響区分	法令等の名称	環境側面等	法令等の要求事項
大気	県民の生活環境の保全等に関する条例	自動車の使用	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ周知 ・指導(駐車場の看板)
大気	フロン排出抑制法	業務用エアコンの修理・撤去 簡易点検	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県指定の業者に依頼 ・業者に資格が有るか確認 ・回収依頼書(マニフェスト)の発行(3年間保存) ・3ヶ月に一度簡易点検(クーラー・スポット空調)
化学物質	消防法	可燃物の備蓄	<ul style="list-style-type: none"> ・規定数量以内 ・火気厳禁・施錠確認・危険物詳細掲示
廃棄物	小型家電リサイクル法	パソコンの廃棄	・パソコンの廃棄は環境庁の認定事業者へ委託
	自動車リサイクル法	自動車の廃棄	<ul style="list-style-type: none"> ・廃車は引き取り業者に渡す ・リサイクル料金の負担
	家電リサイクル法	家庭用エアコン 冷蔵庫・テレビ 洗濯機の廃棄	<ul style="list-style-type: none"> ・指定業者に処分 ・リサイクル料金の負担 ・家電リサイクル券の保管
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物及び産業廃棄物の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・保管は飛散、流出、地下浸透防止 周囲に囲い・60cm×60cm以上の看板掲示 ・看板記載事項は廃棄物の種類 最大積み上げ高さ・管理者の名前と連絡先 ・委託契約書は、種類・数量・性状 最終処分の方法と能力 有効期限 金額・許可証控え保管 ・運搬と処分の関係 ・マニフェスト所定の様式 ・写しのみ返却時の報告 ・運搬終了時の写しの確認 ・処分終了時の写しの確認 ・管理表の保管(5年間) ・委託業社確認を年1回実地確認 (優良業者除外) ・前年度交付状況を6月末までに事業場ごとに 県知事へ報告

9. 代表者による全体評価と見直し結果

全体評価	項目		評価の内容
	環境への取組は適切に実施されているか		環境経営計画に従い適切に取組が行われた
見直し・指示	対象	変更の有無	見直しの項目
	環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	環境経営目標	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	環境経営計画	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	実施体制	<input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	
電力	冬季エアコン使用を控えました。(ガストーブ中心にした為) 要因になったと考えられます		
ガソリン	前年度同様現会長の移動範囲縮小の為走行距離が減少した為達成したのではないかと推測される		
軽油	トラック使用頻度は業務で大幅に変動あり。今期は達成できた。		
都市ガス	ガスを使用するのは主に冬場のガストーブです。今期より暖房方法をエアコン中心からガストーブに変更いたしました。理由として乾燥しにくい・温度調節に即効性がある等が理由となります。今期は大幅増となりましたが、来年度もこの方法を予定しております。来期は今期の実績値が目標値の基準になりますので、この数値で様子を見たいと思います。		
廃棄物	今期大幅達成となりましたが、業務内容としては予定と大きく変動はありませんでした。昨年度の見直し分の廃棄物は予定通り排出されました。		
水	若手社員の外出が多くなり 在社時間が減った為ではないかと推測。その他に使用には大きな変化はありませんでした。		
コピー用紙	今期は両面印刷を意識致しました。一番比重が多い工事届について現在、印刷する人によっては両面印刷可能なページを片面印刷で対応している場合も見られました。改善の周知を行います		
水性塗料 PRTR化学物質 含有量	水性塗料が増えている一方でPRTR化学物質の含有量は増加となりました。塗料により含有量の比率にも違いがある為と考えられます。水性に変換可能な塗料を長年のお取引の塗料店に問い合わせれば最新情報も早く即時の回答が頂けます。塗料店の方の情報が達成要因の一つと考えられます		

『今期は社員と共に多くの事を試しました。見直しが必要な所も見えてきました。今期多くが目標達成となりました要因には、大幅な売上増も大きいかと考えます。弊社は原単位にて計上しております。社員の努力もあり大幅な売上げ増が多くの達成を生みお客様第一と安全を基に、強みのフットワークを生かし、魅力ある企業をめざします。』

2023年6月 代表取締役 米元 将治

※お得意様グループの安全基本原理

『整理・整頓・清掃・清潔・躰』の5Sを徹底すれば事業が向上し事故が減る。お客様より繰り返し指示される5S運動です。当社の教育理念と併せて活動を推進しております。